



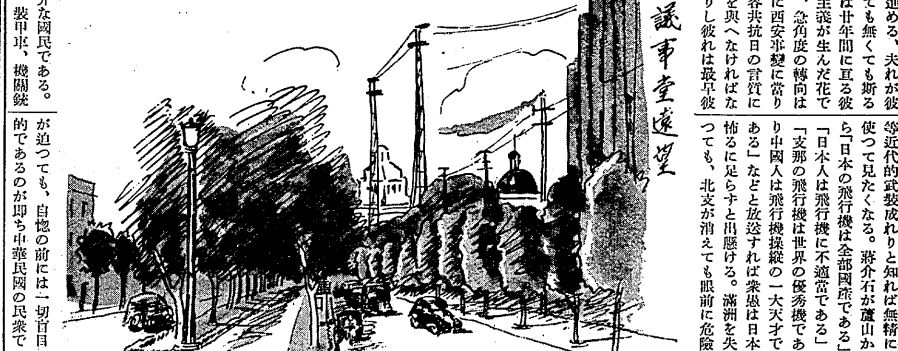
日支全面的 決戦を要す

津田 信吾

本文は津田信吾氏が雑誌『新報』に寄稿したもので、特に注目すべきは、日支戦争の全貌を論じている点である。

七月七日の盧溝橋は永久に記念すべき大問題となつた。柳條湖の一撃が滿洲國を産んだ様に盧溝橋に放つた彼れの一發が夕立雲の如く北支事變となり日支大戦に繋がらう。

無敵の斷崖に馬を進める、夫れが彼自身の本意であつても無くても斯る情勢を劇化するのは半年間に亘る彼れ一流の抗日日軍義勇隊に在る。



ある限り、煽動政治家は榮華盛上に其兩腕を張つて進む事が出来る。蔣介石は多年の戦りから得た尊厳から彼れの正體を暴露せんとして居る。

支那軍閥である。彼れにして連か海海を封鎖して沿海諸港を占據し、主要都市に空襲を敢行して皇軍の尊嚴を示す事が無上の功徳であり、支那保全の友情である。

支那は如何の國も使し得ることの出来ない窮乏國である事を四海に知らしむるの機会でもあつた。東洋に非ざる毎に英米露佛が嘴を容れたが、夫れが又支那を乗せしむる余日にともなる。日支問題は東洋問題である。干渉は斷然容れに過ぎず、支那は戦勝後英米に縛り懸れ、流亡を求むる途を求めんとして居る。數十年の歴史を顧み、東洋平和は常に白人によりて擾亂されて来た。

來た。排日教育の徹底化に對しても日本は正式の抗議をなまじり口頭で以て終結した。日貨排斥も御勝手次第と許されて来た。彼により挑戰の砲撃されても土地解放不擴大主義を標榜して飽く迄迄彼れを意を避へんとして来た。夫れは支那を日本が怖れたのである。其背後に海軍手を恐れたからである。此の如くして日支懸案數件に上るものと一として解決を見ず、彼れに我れに加ふる侮罵の日に登り、遂に非難を重ねる。皇威の隆盛將に侵襲されんとす。此時こそ悔悟忍ぶべくんば、何れの日か東洋の平和を求め得べき。日本は英米露佛によりて其生を享けて来た。

ある。誤つた議論は美德とはならぬ。彼れ等を誤解し等々無用の論争を察かしむるは却つて不正不信の因となり禍となる。支那軍閥は日本に對して尖地回復を口にして居る。滿洲も北支も日本が取つたものではなかつた。彼れ等は排日抗日の題目を掲げ、其の排日抗日を口にして居る。夫れが情けなげに蔣介石に向つて其返還を求むるに如かずであらう。彼等が得意とする排日、毎日の御題目が如何に馬鹿げた迷信で、逆上たかを顧らざれば、十年を出でずして支那は世界地圖から消え失せるであらう。

無敵飽か度し難き國家である。鐵は熱下に撃つて。現下に横る北支事變は多年に亘る日支關係を澄清し東洋永遠の平和を確立するに足る一週の好機會である。友邦支那の爲めに彼國に軍糧を運ぶ軍閥の青年層に一大反省を促す事が大天無邊の大慈悲である。晴雲天下を無せず、列國泰平に猛進し下るある我勇士の辛苦を想ひ馳せ、尊貴性として覺れたる同胞の英氣を慰むる爲めには舉國一致國內に留置すべき一億の民が一路進進、徹底的に膺懲すべきであつて如何なる犠牲も甘受すべきである。

皇國日本の大使命の達成途は一年二年は愚か十年二十年の苦難に堪へるの決心を以てすべきである。一時の興衰で終つてはならぬ。一時の難関を突破しつてはならぬ。百戰百勝の勇氣を失はねばならぬ。日軍の進軍に従つて澎湃して起つ、ある國民の熱誠後援の後に到らざるものなきは國體の精華にして眞に感激に堪へざるものがある。國民手拏て皆兵、國防第二線は我等の手にあり、悉く劍を把つて起つての氣概なかる可らず。戰争は正義の最後手段である。打算のあつてはならぬ。誠心誠意人間最高の一大事業である。戦へば必ず捷つ、是れ國民が國家に負ふところの最大の義務である。國難に迫りたる、長期に亘る今の戦費五億十億を以て足らず更に百億を要するや明かかな、諸外因亦戰費の補給は國民に課せられたる最

大の義務である。戦士は戰場に、産業人は産業線に殉ずるの覚悟に、要は必死の努力に待つのみ産業人の任亦重大なり。我輩戦士の信條は事業を通じの御奉公である。我輩は今や國體の増進職責の支辨、其一端を分擔す亦光榮無難なるを覺ゆるものである。各店従業員は申すに及ばず、海陸空員は時局の重大なるに鑑み、殉國の勇氣を以て各所事項に忠實最善の努力をせられん事を望む。

(昭和十一年八月十五日)

世界大戦中の動員兵力と喪失兵力

(1914年8月ヨリ1918年11月マデ)

Table with columns for Country, Mobilized Troops, and Casualties. Includes data for France, Germany, USA, etc.

ドイツ側

Table with columns for Country, Mobilized Troops, and Casualties. Includes data for Germany, Austria, etc.

支那側

支那は日本が獨立國であることを常に忘れて居る。獨逸は日本に背き英露に據つて繁榮を希ふ、盲目か

支那の現状

支那は日本が獨立國であることを常に忘れて居る。獨逸は日本に背き英露に據つて繁榮を希ふ、盲目か